

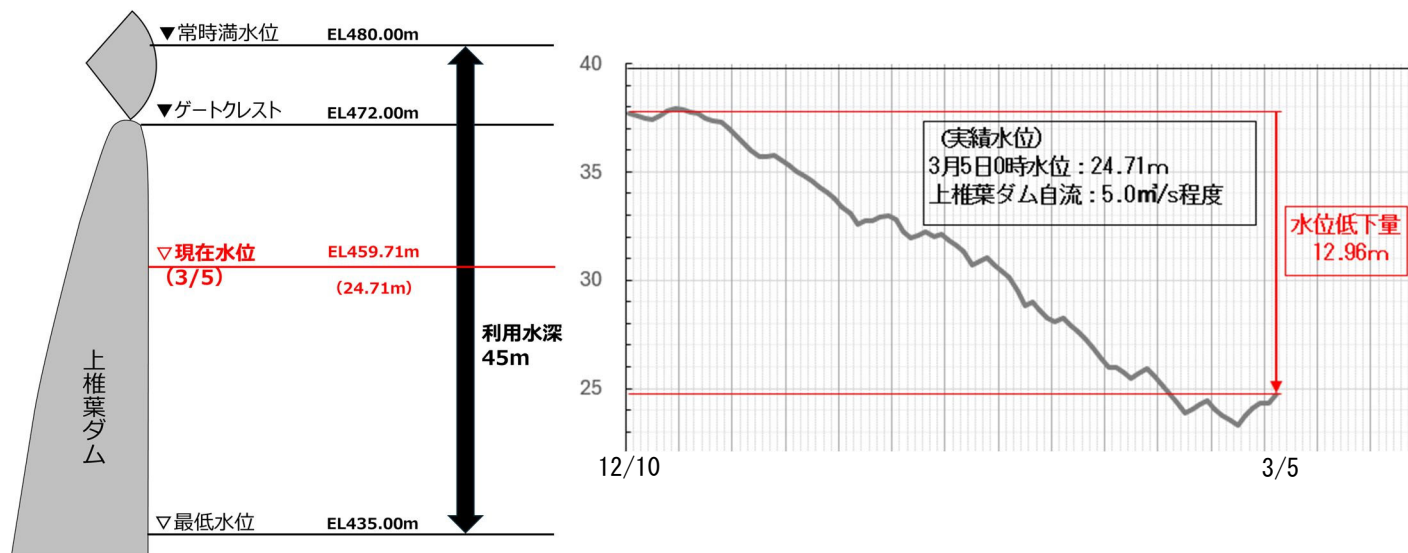
令和8年3月16日
九州電力株式会社

上椎葉ダムの水位低下状況について（情報提供）

<概要>

- 最下流の大内原発電所においては、農業用水、工業用水、水道用水などに供給するための責任放流〔常時； $11.5\text{m}^3/\text{s}$ 〕を行っています。
- 上椎葉ダムは、少雨の影響から責任放流量の不足分を補給しており、その影響でダム水位が低下傾向にあります。
- このため、上椎葉ダム貯水池末端部（上福良橋付近）からダム堤体に向かって河床部分が広範囲に露出し河川状態になっていることから、降雨時には更に河床が洗堀され貯水池内の濁度が一時的に上昇しています。
- 先日、上椎葉発電所の運転に伴い、一時的に下流で濁水が発生しましたが、現在は落ちついている状況です。今後、まとまった降雨があった場合には、耳川において広く濁りが発生することも想定されます。何卒ご理解の程よろしくお願いいたします。

<貯水位の低下実績（12/10～3/5）>



<現況写真>



【ダム地点】

2026年3月5日 取水口付近濁度 20ppm



【十根川合流点】